

2026年8月14日

各 位

会 社 名：ウインテスト株式会社
(コード：6721 東証スタンダード市場)
代表者名：代表取締役 姜 輝
問合せ先：管理本部長 鎌田 文明
(TEL：045-317-7888)

棚卸資産評価損、営業外収益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、当第2四半期連結会計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）における棚卸資産評価損、営業外収益及び特別損失に関しまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 棚卸資産評価損（売上原価）の計上

当社グループは、当第2四半期連結会計期間において、当社が保有する棚卸資産に関して簿価引き下げを行い、当社が定めた会計上の見積りの方針に従い、合計で53,499千円の棚卸資産評価損（売上原価）を計上いたしました。

なお、第1四半期連結会計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）において、棚卸資産評価損（売上原価）71,368千円を計上しておりましたため、当第2四半期連結累計期間（2026年1月1日～2026年6月30日）における棚卸資産評価損（売上原価）は、124,868千円となりました。

当該棚卸資産に関しましては、第3四半期以降出荷される製品にすべて組み込む予定であります。

2. 営業外収益（為替差益）の計上

当社グループは、当第2四半期連結会計期間において、外国為替相場の変動により、為替差益13,014千円を営業外収益に計上いたしました。これは主として当社で保有する外貨建資産等を中間期末日為替レートで評価替えしたことにより発生したものであります。

なお、第1四半期連結会計期間において、為替差益144千円を計上しておりましたため、当第2四半期連結累計期間における為替差益は、13,158千円となりました。

3. 特別損失（減損損失）の計上

当社グループは、当中間連結会計期間において、当社が保有する固定資産について、直近の損益状況に鑑み減損の兆候が認められると判断し「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損会計基準を適用し、合計で25,361千円の減損損失を計上しました。

4. 業績への影響について

上記の棚卸資産評価損、営業外収益及び特別損失の業績への影響については、本日公表の「2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以上